

第90回全国高校ラグビー大会県予選は15日、秋田市の八幡球技場で開幕した。初日は1回戦2試合を行い、能代工が逆転で大館鳳鳴を下し、金足農は大館工を無得点に抑えて快勝した。第2日のきよつ16日は、同球技場で2回戦2試合を行い、第1シードの秋田工が能代工と、第2シードの秋田中央が金足農とそれぞれ対戦する。



〈第1日〉

能代工 27 (22-7) 14 大館鳳鳴  
 22分ハーフ▽キックオフ能代工  
 11107  
 TGP前 41022  
 TGP後 2714  
 計反 14

(恩田真太郎)

# 能代工後半猛攻 鳳鳴に逆転勝ち

▽1回戦  
 能代工 27 (22-7) 14 大館鳳鳴  
 22分ハーフ▽キックオフ能代工  
 11107  
 TGP前 41022  
 TGP後 2714  
 計反 14

9分、CTB阿部のトライで4点差に詰め寄ると、19分にはゴール手前のラックから抜け出したナンバー8柴田が逆転のトライ。その後も2トライを奪いリードを広げた。大館鳳鳴は、前半のリードを守り切れなかった。

「ギリギリの人数」で奮闘

▽1回戦  
 能代工 27 (22-7) 14 大館鳳鳴  
 22分ハーフ▽キックオフ能代工  
 11107  
 TGP前 41022  
 TGP後 2714  
 計反 14

「きよつ」の結果

▽2回戦  
 秋田工 (13-00) 能代工  
 金足農 (14-30) 秋田中央

と胸を張ったが、「先輩たちのために勝ちたかった」と悔しさをにじませた。

前半のリードを守れず、逆した相手に6点差まで詰め寄せた。中嶋主将は「1、2年生地区総体では57で大敗しのおかげでここまでやれた」と語り、大澤も「絶対に部員を集め来年は勝ちたい」と話していた。



【能代工—大館鳳鳴】後半28分、能代工のH O 畠山(右下)がトライを決めて25—14とする＝八幡球技場

# 金農、大館工に完勝

▽1回戦  
 金足農 75 (34-0) 0 大館工  
 30分ハーフ▽キックオフ大館工  
 10000  
 TGP前 0000  
 TGP後 0011  
 計反 5

も、BKを中心に素早いパス回しから6トライを挙げリードを広げた。後半も、FWの突破などで6トライを奪い、無得点に抑えた。

▽1回戦  
 金足農 75 (34-0) 0 大館工  
 30分ハーフ▽キックオフ大館工  
 10000  
 TGP前 0000  
 TGP後 0011  
 計反 5

「雑草魂」無失点で雪辱

▽1回戦  
 金足農 75 (34-0) 0 大館工  
 30分ハーフ▽キックオフ大館工  
 10000  
 TGP前 0000  
 TGP後 0011  
 計反 5

この日、SO齋藤郁哉(1年)が的確にパスを回し、トライを量産した。FWもBKをサポート。モールやラックで相手陣内に攻め込み、トライを奪った。2トライを挙げたH O 相馬雄介(2年)はチームに一体感があった」と笑顔で振り返った。

▽1回戦  
 金足農 75 (34-0) 0 大館工  
 30分ハーフ▽キックオフ大館工  
 10000  
 TGP前 0000  
 TGP後 0011  
 計反 5

【ロッテルダム(オランダ)共同】体操の世界選手権は16日、オランダのロッテルダムで開幕する。大会初日に予選を控える日本女子は15日、前回個人総合銅メダルのエース鶴見虹子(朝日生命ク)や、兄の和仁(徳洲会)と初の兄妹代表となる田中理恵(日本大大学院)が練習会場で最終調整した。

男女とも2日間ずつで予選を実施し、団体、個人、種目別の決勝に進むチームと選手が決まる。

第90回全国高校ラグビー大会県予選第2日は16日、秋田市の八橋球技場で2回戦2試合を行い、第1シードの秋田工、第2シードの秋田中央がそ

全国高校ラグビー 県予選 <第2日>

れぞれ順当勝ちし、準決勝進出を決めた。きょう17日は同球技場で2回戦残り2試合を行い、4強が出そろった。  
(恩田真太郎)

# 終始ボール支配 秋田中央が快勝

## 金足農、反撃遅く

勝利にも反省しきり  
○2年ぶりの花園出場を目指す秋田中央は、42点差をつけて初戦を制したが「FWが全然動いていない。ミスも多く、相手の方が厳しいタックルをみせていた。点差ほど実力差はなかった」と古谷和義監督の表情は険しかった。ラックではFW陣が突破力を発揮し、ラインアウトでも

確実にボールを奪いトライに結びつけた。しかし、相手の反則4に対し、秋田中央は15とミスが目立った。藤田修平主将(3年)も「最後まで集中力が続かなかった。FWも走れなかった」と反省しきり。準決勝は1週間後。藤田主将は課題をしっかりと修正し、次の試合は引き締めて臨む」と話した。



【秋田中央—金足農】前半5分、秋田中央のナンバー8古木(右)がディフェンダーを振り切り、先制トライを奪う＝八橋球技場

# 秋田工16トライ圧勝

## 能代工を速さで翻弄

16トライを奪った秋田工が、攻守で能代工を圧倒した。秋田工は試合開始早々、BK陣が左に展開し、WTB伊藤がトライを決めて先制。その後も素早いパス回しから相手守備陣を崩してトライを量産。前半で55点のリードを奪った。

田工に挑んだ能代工だったが、素早く外へ展開するラグビーに翻弄(ほんろう)され、本当にいいパスをくれた。

### 秋季東北高校軟式野球開幕

## 秋田工、完封勝ち

第22回秋季東北地区高校軟式野球大会は16日、宮城県の名取スポーツパーク愛島球場で開幕。初日は1回戦2試合を行った。本県代表の秋田工が菊地が1安打完封。バックも

無失策で盛り立てた。秋田工はきょう17日の準決勝で、専大北上(岩手)と対戦する。

### きょうの結果

▽2回戦

秋田工 92-5 能代工  
秋田中央 47-5 金足農

### きょうの試合

▽2回戦

秋田南(13-0) 秋坂田  
男鹿工(14-30) 小坂田

▽2回戦

秋田工 92(375-50) 5 能代工  
▽30分ハーフ▽キックオフ能代工  
▽交代【能】小野(小嶋)【秋】  
能代工 10000 10005 57  
秋田工 95055 71037 92計反

林山藤木川熊部田川山村山嶋純木  
北畠工鈴赤三阿柴石大田栗小児佐  
▽交代【能】小野(小嶋)【秋】  
安田(小野垣)、近藤(高野)、  
小松(寺田)、保坂(松本)、棚  
谷(今井)、本川(村井)、土橋  
(成田)、関谷(近藤)、八端(吉

大敗を喫した。石川主将は「2年生(3年)は「東北王者に、攻守で一步引いてしまった」と振り返った。  
序盤から大量リードを許す苦しい展開となったが、後半12分には、FW陣のしつこい当たりからBKにボールを回し、CTB小嶋大(2年)がトライを奪った。小嶋は「先輩たちがチャンスをつくり、本当にいいパスをくれた」と

と語り、石川主将は「2年生が意地をみせてくれた。このトライを来年につなげてほしい」と、唯一の得点を喜んだ。  
今年は3年生が13人。例年よりも戦力が充実していただけに石川主将は「もう少し守備で力を出し、3年間の努力の結果をみせたかった」と悔しさのぞかせた。

▽1回戦

東北学院 000000000000  
秋田工 000010000200  
東北学 291723 後藤 若間  
秋田工 2917150 菊地 大淵  
▽二塁打 利部 2 (秋)

▽1回戦

東奥義塾 7-0 平 工  
(青森) (福島)

第90回全国高校ラグビー大会県予選第3日は17日、秋田市の八橋球技場で2回戦残り2試合を行い、第4シードの秋田と第3シードの男鹿工が勝ち上がり、4

全国高校ラグビー 県予選

〈第3日〉

強入りを決めた。準決勝は23日に同球技場で、午後1時から秋田工ー秋田、同2時半から男鹿工ー秋田中央を行う。

(椎名博樹)

# 攻守で優位 秋田が完勝

## 秋田南の反撃封じる

ライを重ねた。後半に入るとイを奪って突き放した。も優位に試合を進め、4トラ 秋田南は、敵陣に攻め込ん



【秋田ー秋田南】前半20分、秋田のSH森川がトライを決めて12ー0とする。八橋球技場

だものの、相手の守備を崩せなかった。

「集中し、プラン通り」

○：7トライを奪い、無得点に抑え完勝した秋田。近藤周平監督は開口一番に「集中力があってプラン通りに最後まで引き締まったゲームをしてくれた」と選手たちをたたえた。

今大会を迎える直前までFWとBKの連携が取れず「攻めても得点に結びつけれない試合が続いていた」とFL村上遥主将(3年)。この日は、FWの縦への攻撃からBK陣が素早い展開をみせ、トライを量産。守りでは秋田南の攻撃の軸となるCTB岩谷歩夢(同)を封じ、得点を許さなかった。

6つの反則を重ね攻め込まれる場面もあり、村上主将は「反則を減らしていたら楽に攻めることができると反省を口にしたが、」久々にいいムードで試合ができた。大きな1勝になった」と語る。

準決勝は第1シードの秋田工が相手。村上主将は技術、フィジカルともに秋田工が上だが、集中力で相手のキーマンをつぶし、チャンスを確認し、チャンスを高ぶらせてい

# 17トライ、男鹿工圧勝 小坂に主導権握らせず

木田崎水口橋川、浦川林端谷村、佐成松浅山栗相、三赤杉田西阿松、利友黒黒田藤野地圭田佑、藤塚、浦大目石中吉工小菊伊鎌三、櫻名、三(相川)、「男」船木(目黒)、中村(菊地)、山口(犬友)

始、ボールを支配。トライを量産して突き放した。小坂は気迫あふれるタックルをみせたが、及ばなかった。

悲願の1勝に届かず

○：チーム結成から8年連続で県予選に出場している小坂は、男鹿工に攻守で圧倒され、0ー99で大敗。今年も悲願の1勝は達成できなかった。

今大会は総勢19人で臨んだ。3年生6人のうち、正規の部員は3人。夏に部活動を終えたバスケットボールやテニス部からの助っ人3人を加え、チームをつくった。序盤から立て続けにトライを奪われる苦しい展開となったが、「初勝利は無理でも、百点以上奪われて負けたくない」と成田悠希主将(3年)。「随所で気迫あふれるタックルをみせ、3年ぶりに失点を2けた台で止めた。」

敗戦に悔し涙を浮かべる成田主将は「練習がきつくと、体も痛くてつらかったが、タックルやトライを決めたときの喜びを胸に頑張ってきた。仲間とラグビーをやれて本当に良かった」と振り返る。最後にフィールドで行った記念撮影には、選手たちの笑顔はなかったが、成田主将は「一生大切にしたい」と話した。

男鹿工 99(5445) 0 小坂

男鹿工 75(045) 10(20) 54

小坂 0(000) 0(000) 0(04)

FW、BKで圧倒した男鹿工が計17トライを挙げ、小坂を下した。

男鹿工は前半2分、ゴール前のラックからL0中田が右中間に先制トライ。その後も自陣10ライン付近からナンバー8小野が独走してトライを決めるなど立て続けに得点を重ねた。後半に入っても終

▽2回戦

秋田	37(2017) 0	秋田南	0
田南	31(017)	4(00) 20	37(6)
秋田南	0(000)	0(000) 後	計反
			4

田南▽レフェリー 武藤

秋田 加高 鎌倉村原古森新横土越岩黒

秋田南 藤田 島陽勇井澤浦村宗井西司谷拓本

藤田 津佐新赤三木々夏小庄岩佐佐山

▽交代【秋】齋藤(岩谷)【南】柳本(岩谷)、松田(新井)、藤原(木村)

### きのうの結果

秋田 37ー0 秋田南

男鹿工 99ー0 小坂

# 秋田中央 2年連続 秋田工 決勝で激突

第90回全国高校ラグビー大会県予選第4日は23日、秋田市の八橋球技場で準決勝を行い、第1シードの秋田工と第2シードの秋田中央が決勝進出を決めた。秋田工は着実にトライを重ね



〈第4日〉

て秋田に大勝。序盤に主導権を握った秋田中央は、男鹿工の追撃をかわし快勝した。全国大会出場を懸けた決勝は、30日午後2時5分から同球技場で進行。  
(恩田真太郎、椎名博樹)

## 秋田中央 追撃をかわし 男鹿工に快勝

秋田中央 41 (22) 19 0 男鹿工 19 (0) 0 0 0  
 中央△32P0 32P1 32P2 32P3 32P4 32P5 32P6 32P7 32P8 32P9 32P10 32P11 32P12 32P13 32P14 32P15 32P16 32P17 32P18 32P19 32P20 32P21 32P22 32P23 32P24 32P25 32P26 32P27 32P28 32P29 32P30 32P31 32P32 32P33 32P34 32P35 32P36 32P37 32P38 32P39 32P40 32P41 32P42 32P43 32P44 32P45 32P46 32P47 32P48 32P49 32P50 32P51 32P52 32P53 32P54 32P55 32P56 32P57 32P58 32P59 32P60 32P61 32P62 32P63 32P64 32P65 32P66 32P67 32P68 32P69 32P70 32P71 32P72 32P73 32P74 32P75 32P76 32P77 32P78 32P79 32P80 32P81 32P82 32P83 32P84 32P85 32P86 32P87 32P88 32P89 32P90 32P91 32P92 32P93 32P94 32P95 32P96 32P97 32P98 32P99 32P100

序盤でリードを奪った秋田中央は、追いつがる男鹿工を振り切った。先制した秋田中央は前半25分、ゴール前のラインアウトから、男鹿工のキーマンとなるS

### きのこの結果

秋田工 57-0 秋田中央 41-19 男鹿工 19-0



【男鹿工―秋田中央】前半31分、タックルを振り切り秋田中央のFB佐藤諒がトライ。17-0とする。八橋球技場

## FW陣、接点で力発揮

### 秋田中央

「まともなタックルがほとんどなかった。もう少し前に出て守備をしなれば…」4年連続で決勝進出を決めた秋田中央だったが、古谷和義監督の表情は晴れなかった。初戦の金足農戦に続き、2試合連続で快勝。この日も41-19と引き離したが、男鹿工のキーマンとなるS

〇安田龍平(3年)、CTB南都和也(同)ら走力のある選手に突破を許し、後手に回る場面もあった。S〇鈴木健士郎(同)は「タックルが1発で決まらず、ピンチをつくった。反省が多い試合だった」と語り、守備からリズムがつくることのできなかった。

だが、攻撃では持ち味を発揮した。相手のキックをキャッチしてから攻め込み、FW陣の接点での強さなどをみせ、計6トライを奪い粘る男鹿工を突き放した。2トライを挙げチームを引っ張ったナンバー8古木三裕(同)は「オフフェンス面で相手にプレッシャーを与えることはできた」と手応えも口にした。

2年ぶりの花園出場まであと1勝。決勝の相手となる秋田工には、全県新人、全県総体ともに決勝で敗れている。藤田修平主将(同)は「力さえ出し切れれば勝てる。課題をしっかり修正し、1週間で最高のチーム状態に仕上げたい」と、打倒秋田工に向けて気合を入れ直している。

【秋田工―秋田中央】前半20分、モールから抜け出した秋田工のPR小野垣がトライ。19-0とする。八橋球技場

## 8トライ、秋田圧倒

### 秋田工

秋田工は後半意地をみせたが、前半の失点が最後まで響いた。男鹿工、前半の攻防悔やむ。〇後半に反撃をみせた男鹿工だったが、前半の失点が重く秋田中央をとらえることはできなかった。前半、2本のトライを奪われた男鹿工。終了間際には敵陣のゴールライン直前まで攻め込みながらあと一歩でトライを逃すと、直後に失点を許した。「ここが勝負の分かれ目だった」と柴田久寛監督。後半、3本のトライを返すなど、五分の戦いを見せただけに、前半の攻防を悔やんだ。

昨秋の全県新人戦では秋田中央に0-55で大敗。そこから新たなスタートを切り、この春から就任した柴田監督の下、FW、BKともに走ってボールを動かすラグビーを目標として練習に励んできた。柴田監督は「もっとBKで展開したかったが、選手たちは成長してくれた。前半でリードされても気落ちせずに戦い意地をみせてくれた」とねぎらった。

後半終了直前にチーム3本目のトライを奪った樋渡拓也主将(3年)は「あきらめず最後のホイッスルが鳴るまでトライを決めよう」と全員で戦った。後輩たちは悔しさを胸に来年は「やればできる」と話した。

2年連続の決勝進出を果たした。ハイパントからFW陣の突破で攻め込むとする秋田に對し、鋭いタックルを次々に決め攻撃の芽を摘んだ。SO村井佑太主将(3年)は「自分たちの守備ができた」と振り返る。

決勝に向けて村井主将は「絶対に負けない。全力でトライを奪いに行く」と意気込んでいた。



【秋田工―秋田中央】前半20分、モールから抜け出した秋田工のPR小野垣がトライ。19-0とする。八橋球技場

振り返り、「力を引き出して上げられなかったのは自分の責任。選手たちは頑張った」とたたえた。

敵陣に攻め込むことができず、村上主将は「トライを1本でも奪いたかった」と唇をかみしめたが、「ラグビーを頑張ることで充実した3年間を送ることができた」と力強く語った。

# 秋工 F WとB K連携が鍵 個々の突破力で勝負 中央

第90回全国高校ラグビー大会県予選はきょう30日、秋田市の八橋球技場で秋田工―秋田中央の決勝を行い、全国大会（12月27日～来年1月8日・近鉄花園ラグビー場ほか）の出場校が決まる。秋田工が優勝すれば2年連続63度目、秋田中央が勝利すれば2年ぶり8度目の出場となる。

（恩田真太郎）

## 全国高校ラグビー県予選

### 花園目指しきょう決戦

第1シードの秋田工は、これまでの2試合を危なげなく勝ち上がった。第2シードの秋田中央もF W陣の突破力を前面に押し出して勝ち進んできた。決勝では、秋田工の素早い連続攻撃に対し、秋田中央がディフェンスラインを前に上げてパスの流れを止められ、かどうかがポイントとなりそうだ。

秋田工は、強力なF W陣の突破に加え、テンポ良くパスを回しB K陣を外に広く使う展開力を持ち味。伝統の低いタックルも健在で、S O村井佑太朗主将（3年）をはじめ、長身のL O寺田大樹（同）らを擁するF W陣がこれまでどおり連係できれば連覇が見えてくる。

#### きょうの試合

【八橋球技場】  
▽決勝  
秋田工（14・05）秋田中央



心底から燃える試合を

黒澤光弘監督 決勝は壮絶なゲーム展開が予想される。監督に就任（復帰）して3年目の集大成。攻守で選手間の意思の疎通を大事にして、心の底から燃えるような試合をしてほしい。完全燃焼する。

#### 秋田工



一丸となりトライ奪つ

村井佑太朗主将 伝統の低いタックルで相手の攻撃を止め、全員が一丸となってトライを奪いにいく自分たちのラグビーを貫く。これまでに破ってきたチームの思いを引き継ぎ、必ず優勝を決める。



1年の練習成果生かせ

古谷和義監督 花園出場へ向けいよいよ最終段階。準決勝では前に出るタックルができなかったが、1年間練習してきたのはディフェンス。決勝では全員が守備に練習の成果を発揮して勝利を目指す。

#### 秋田中央



力出し切り雪辱果たす

藤田修平主将 応援してくださる方々への感謝の気持ちを込めて決勝は戦う。試合を重ねチームの雰囲気は盛り上がっている。力を出し切れれば勝てる。昨年も秋田工に負けている。雪辱を果たす。

接点での勝負に力強さが目立つ秋田中央は、L O藤田修平主将（同）、ナンバー8古木三裕（同）を中心としたF W陣が踏ん張り、秋田工のスピードにどう対応するかが鍵を握る。F W陣、B K陣とも個々の突破力は高い。走りきること運動量を相手ディフェンスに見せながら、守りでも粘り強く食らいつきたい。

両校は昨秋の全県新人戦、今夏の全県総体でも決勝で対戦し、いずれも秋田工が5点差以内の小差で勝利している。

# 秋工 2年連続花園へ

## 粘る秋田中央振り切る

第90回全国高校ラグビー大会県予選最終日は30日、秋田市の八橋球技場で決勝を行い、秋田工が秋田中央を24-17で下し、2年連続54度目の優勝を飾り、63度目の全国大会出場を決めた。秋田工は立ち上がりからリードを奪い優位に試合



〈最終日〉

を進めた。後半には秋田中央の反撃に苦しめられたものの、2トライを決めて競り勝った。全国大会は27日から来年1月8日まで東大阪市の近鉄花園ラグビー場などで行われる。  
(恩田真太郎、椎名博樹)

▽決勝

秋田工 24 (10|14 | 12|5) 17 秋田中央

▽30分ハーフ▽キックオフ 秋田中央▽レフ  
エリート 下井

中央 1005 21012 174

TGP前 TGP後 計反

秋田工 22014 20010 24計反

29

両チームともに持ち味を発揮した一戦は、連続攻撃を展開した秋田工が、FW陣の突



【秋田工—秋田中央】前半4分、秋田工のWTB南波がゴール右に先制トライを決める＝八橋球技場

# 攻守で主導権渡さず

2年連続54度目の優勝

秋田工

村藤勇大 修 端 間 木 部 木 榎 松 橋 諒  
木 進 佐 高 藤 池 下 古 渡 鈴 佐 富 小 土 佐  
【秋田工】FW HB T B F  
野 越 野 田 依 本 起 井 田 井 木 浦 藤 波 田  
小 村 高 寺 近 松 船 吉 村 佐 三 佐 南 成  
▽交代【中】阿部(下間)、高橋  
昂(佐々木)

から右に展開し、WTB南波がトライを決めて先制。ゴールも決めた。その後、1トライを返されたが、21分にはゴール手前のラックからPR小野垣がトライを奪い、リード

を上げた。後半もBK陣が外に展開して2トライ挙げるなど、粘り強い守りで秋田中央の反撃をかわした。秋田中央はドライブングモールなどで3トライを返したが、要所でのミスが響き、あと一歩及ばなかった。

ミスからチャンス逃す  
○：後半、再三攻め込みながらあと一歩届かなかった秋田中央。試合後、おえつが止まらない選手たちに古谷和義

はミスからチャンスを逸した。PGを選択し点差を詰める策もあったが「持ち味のFW陣で攻めた方が相手へのプレッシャーも大きい」と古谷監督。自分たちのスタイルを貫き挑み続けたが、最後まで追い付くことはできなかった。第1列のPR佐藤勇人(3年)は「FW陣はベストを尽くした。昨年の決勝で秋田工に負けてからモールで勝負で

栄光

## 厳しい戦い、持ち味発揮

テンポ良いパス回しからのBK陣の展開力、出足が鋭く低い伝統のタックル。しぶとく食らいつつ秋田中央を攻守で振り切った秋田工ファイフティーン。冷静な試合運びは、王者の貫禄(かんろく)を感じさせた。FW陣の突破力を武器にする秋田中央に対し、秋田工はBK陣が持ち味を遺憾なく発揮。S村井佑太郎主将(3年)の効率的なキックで敵陣深く攻め込み、素早くパスを外に回し、トライを奪った。



秋田工 vs 中央  
前半 5 | 12  
後半 10 | 5  
計反 24 | 17

2年連続54度目の優勝を飾った秋田工チーム